

突撃インタビュー

副院長 友永 真人



今回は、本年4月より就任されました友永副院長に突撃インタビューしてまいりました! いざ...

問1:お名前と出身、年齢をお願いします。

友永真人(トモナガ マサト) 大阪府出身、40歳です。

問2: 趣味や最近凝っているものはなんですか?

ゴルフです。(ちなみにドライバーは270ヤード以上飛ばす飛ばし屋のようです)

問3: 最近行った旅行先、そのおすすめの場所はどこですか?
ハワイのクアロア牧場は、広い場所で馬に乗れて楽しかったです。

問4: どんな食べ物が好きですか?
なんでも好きで、特に嫌いなものはありません。
千林商店街を探索して美味しいものを探して歩きたいですね。

問5: 整形外科を目指した理由はなんですか?
整形外科は大人から子供までの様々な患者さんを診ることができるからです。

問6: 福島病院で取り組みたいこと、目標などをお願いします。
地域の患者さんに喜んでもらえるように、手術を中心に頑張っていきたいです。

問7: 最後にこの広報誌を読んでくれる方々に一言!
一緒に少しでも症状がある部分が良くなっていくように頑張ります。

~~~~~ 本日はありがとうございました。

# 10年勤続表彰



調理師 関口 亜衣子

福島病院に勤務して早 10 年になりました。初めての職種だったので戸惑いながらいろいろな病気ごとに色々な種類の病院食があることを学びました。  
勤務して 5 年目にいろいろなことがあり、栄養士の体制が変わりました。「おいしい」と言われることが多くなり、料理を作ることが楽しくなりました。年間の行事食や調理師献立も多くなり、大変ですがやり甲斐があります。  
患者さんと職員さんにもっと「おいしい」と言われるようにこれからもがんばりたいと思います。

10年間ありがとうございました。  
これからも、よろしくお願いします。



看護師 中島 智子

早いもので、続かなかないながらも、福島病院に入職して10年が経ちました。  
10 年間、ハプニングがあり、泣いたり、笑ったりありました。続いた自分にもビックリです。これも先生方、先輩、後輩、周りのスタッフ皆さんに見守り、支えて頂いたおかげです。感謝一杯です。  
私の自慢はいつも笑顔でいること、そして小さな身体です。(笑) これからもこの小さな身体で、患者さんやスタッフを笑顔にさせるという「大きな夢」に向かって頑張っていきたいです!



調理師 永井 瞳

福島病院に勤務して、10 年という月日が経ちました。この 10 年間たくさんの人と出会い、人として、調理師として色々なことを学ばせて頂きました。そして、何よりこの 10 年間に栄養科はガラリと変わりました。まず、服装が T シャツからユニフォームに変わりました。厨房の内装も全く変わって新しい調理器具が導入され、食堂と厨房の壁もなくなり、オープンキッチンになりました。そして、メニューも新しく変わり、初めは戸惑ったこともありましたが患者さんや職員さんから「美味しかった」「前より美味しくなったよ」という声を頂くと、「次はもっと美味しくなるように作ろう!」とモチベーションが UP しました。

この 10 年勤務してきて感じたことは、栄養科が変わったということもありますが、「変化する」って大切なことだと思いました。変化の途中は面倒くさいな、嫌やなって思うこともありますが、それが患者さんや職員さんの「美味しかった」や自分のレベル UP のためには必要な事なのだとうわかりました。これからも「美味しかったよ」と言って頂けるように日々変化、努力していこうと思います。



保母 高木 恵味

30 歳後半での転職は不安でいっぱいでしたが、気が付けばあっという間に 10 年が経っていました。10 年の間に結婚、出産をし、仕事、主婦として忙しい毎日でした。そんな中でここまで仕事を続けることが出来たのは両親の助けがあったからです。そして、毎日頑張っておられるお母さん看護師、子ども達から沢山の元気をもらうことが出来、現在があります。これからも私の出来る事を精一杯やっていきたいと思っています。  
最後に色々なことを経験させて頂いた10年間に感謝です。



調理師 山口 カオル

福島病院に勤務して早 10 年が過ぎました。入職した時は周りにはベテランさんばかりで、続けていけるか不安な気持ちでいっぱいだったことを今でも覚えています。こうして続けてこれたのも、スタッフ、家族のおかげだと感謝しています。  
スタッフには悩んで落ち込んだ時など、いろいろな面で助けていただきました。10 年前というと、まだ子供が小学生と中学生だったので早出の朝は田舎の母に電話で起こしてもらい、自分達で朝用意して学校に行っていました。  
この 10 年間で栄養科も新体制となり、患者さん、職員さんから「おいしかった」など、嬉しくなるような声をかけてもらえるようになりました。これからも、もっともっとそのような声が聞けるよう精一杯頑張っていこうと思います。

# 平成30年度 新卒看護師紹介

今年も3名の  
新卒看護師さんが  
入職しました。  
よろしくお願いします。



看護師 前田 葵 (まえだ あおい)

・長崎県出身  
・行岡医学技術専門学校卒業  
・日々勉強し患者さんを第一に考えられるよう行動していきます。  
患者さんに笑顔で接します。



看護師 小田 奈津美 (おだ なつみ)

・長崎県出身  
・大阪府医師会看護専門学校卒業  
・なりたかった仕事によく就けたので、一生懸命患者さんのために頑張ります。



看護師 大石 聖奈 (おおいし せな)

・長崎県出身  
・行岡医学技術専門学校卒業  
・未熟者ですが、皆様に信頼される看護師になれるように頑張ります。

# 福島病院 各部署紹介 今回は、「臨床検査科」編です。

## ～愛すべき職場～ 臨床検査科

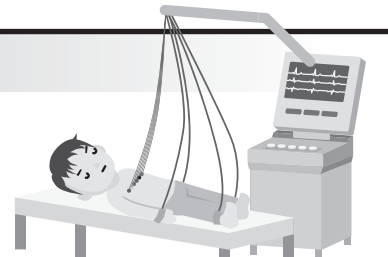
私たち臨床検査技師の愛すべき職場は“臨床検査室”と“心電図室”です。これらの部屋では生化学検査や、生理検査を行っています。生化学検査は1階トイレ横の臨床検査室にて、臨床検査室の隣の心電図室や3階の診察室では生理検査が行われています。

生化学検査とは、患者さんから採取された血液や尿を機器で測定したり、顕微鏡を使って観察することです。これによって得られたデータを分析し主治医に報告します。当院では「大阪血清微生物研究所」より出向業務として勤務されています。(ブランチラボといいます)ゆえに私たち臨床検査科の職員の仕事は生理検査のみとなるわけです。

生理検査では、患者さんの身体を直接検査しています。例えば心電図では、心臓の不整脈や心筋梗塞、狭心症などが、肺機能検査ではぜんそくや肺気腫などを患っているかどうか分かります。

また、生理検査室では血管や平衡機能(ふらつきなど)、聴覚、脳神経、呼吸機能における検査などを医師の指導の下に行っております。

私たち臨床検査技師は皆様の病気の診断はもとより、予防、治療、回復のお手伝いをする一員としてこれからも業務に務めてまいります。



# 病院慰安旅行が5月にありました。1泊2日の楽しい旅行でした。

